

チャペル週報

No.25

2017.12.4 ~ 12.8

主よ、慈しみをわたしたちに示し
わたしたちをお救いください。
わたしは神が宣言なさるのを聞きます。
主は平和を宣言されます
御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に
彼らが愚かなふるまいに戻らないように。
(詩編85編 8-9節)



大学図書館屋上より

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

12月4日(月) 神 アドベント礼拝 水野 隆一(神学部教授)
経 音楽チャペル バロックアンサンブル
人 芝野 松次郎(人間福祉学部教授)
理 前川 裕(宗教主事)
聖和 聖書物語「おめでとうマリア」

12月5日(火) 神 安崎 嗣穂(神学研究科M2)
文 チャペルコンサート
青木 美緒(ソプラノ、経済学部教務補佐)、羽根田 操(ピアノ)
社 「希望」って何だろう?① 打樋 啓史(宗教主事)
法 音楽チャペル バロックアンサンブル
経 人間を考える⑩ 栗田 匡相(経済学部准教授)
商 音楽チャペル ハンドベルクワイア
国 クリスマスにそなえて 平林 孝裕(宗教主事)
理 水木 純一郎(理工学部教授)
総 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
教 湊 秋作(教育学部教授)

12月6日(水) 神 行澤 平和(神学研究科M1)
社 “Gospel Christmas” ゴスペルクワイア"P.O.V."
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 経済と倫理① 西村 智(経済学部教授)
人 嶺重 淑(宗教主事)
国 音楽チャペル④ バロックアンサンブル
理 関西学院室内合奏団
総 大用 庫智(総合政策学部助教)
教 定年退職教員最終チャペル講話 五百住 満(教育学部教授)

12月7日(木) 神 「琉球の風にのせて～愛と平和のうたとメッセージ～」 Sari Sari Moon
文 音楽チャペル 聖歌隊
社 「希望」って何だろう?② Vivian Bussinguer-Khavari(社会学部准教授)
法 音楽チャペル ゴスペルクワイア"P.O.V."
商 Chapel in English Curtis Rigsby(宣教師)
国 Chapel in English Eun Ja Lee(宣教師)
総 佐野 睦(有限会社佐野葬祭代表取締役)
聖和 バーバーショップでクリスマス グリークラブ、広瀬 康夫

12月8日(金) 院 徳田 有紀子(高等部教諭)
神 私にとつての宗教改革⑩ 橋本 祐樹(神学部助教)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 経済と倫理② 井口 泰(経済学部教授)
人 献血実行委員会
理 KSCハンドベル&アンサンブル

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
12月8日(金) 千里国際中等部・高等部・大阪インターナショナルスクールのために
井藤 眞由美(千里国際中等部・高等部校長)

光と音の紡ぎ歌

太 宰 まり

ドイツの11月は長い霧の季節です。暖かい陽の光にはお目にかかれない暗い期間が続きます。留学生の私には少々づらい日々でした。それが一転するのがアドヴェントの始まり。街の飾りつけも賑やかに、さあ、これから約4週間、クリスマスを待つ季節となります。プレゼントや料理の準備もしなければなりません。人々の表情まで明るく優しくなったような気がしたものです。関西学院でも、時計台前のツリーの点灯式がすむと、キャンパスにはクリスマスの気分があふれます。

そんな気持ちに合わせてオルガンも歌います。オルガンは人々の心に寄り添う楽器です。集う人々の気持ちを代表して、捧げ物としての音楽を奏でます。この楽器は1台として同じものはなく、変幻自在、どのようにでも造ることができます。ですから、12世紀頃からヨーロッパに巨大な教会が出現した時も、そのような大きな空間に考えられる楽器はパイプオルガンであったのです。一方、卓上に置けるような小さなものもあります。中世の街角には、小型オルガンを抱えて歌う吟遊詩人が立ち、行き交う人々を楽しませました。形や規模だけでなく、音色もさまざま。ただひたすら力強く賛美するものもあるし、いえいえ、そっと優しく繊細な音を奏でるものもあります。お望みのようにお造り下さいという楽器なのです。そして、いつもそっと人々の横にたたずみ、悲しみや喜びをともにしてくれるのです。

関西学院のオルガンも、それぞれの個性を表現しながら、数多くの礼拝や式典に用いられています。豊かな音色で私たちの賛美の声を導いているのです。今では、3つのキャンパスに合わせて総勢40余名の学生チャペルオルガニストがおり、まさに“Mastery for Service”を体現するものとして、日々の奉仕に勤めています。学院での体験を基にして、卒業後も教会で奏楽を続けたり、さらには世界のオルガン界に羽ばたく者もあります。一般の同窓の方々「チャペルが懐かしいなあ」という声もよく届きます。大学のチャペルに集う体験が、知らず識らずのうちに人生に関わっていく不思議に大いなる恵みを感じます。学院に関わる全ての人々に、主の降誕のメッセージが豊かに届き、光と音が紡ぐ美しいキャンパスに、賛美と感謝の歌が満ちあふれますように。

(関西学院オルガニスト)

●クリスマスツリー点灯式ーアドベントを迎えてー

アドベント（降誕節12/3）に入った翌日、関西学院はクリスマスツリーに点灯し、クリスマスの準備を始めます。どなたでもご自由にご参加ください。（雨天決行）

と き：2017年12月4日（月）

ところ：西宮上ヶ原キャンパス 中央芝生 18：30～19：00

神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ前 18：30～18：50

西宮聖和キャンパス 2号館前 18：30～19：00

●第211回ランバス演奏会

歌とリユートによる「イングリッシュ・キャロル」

演 目：愛は甦る、リユートブックララバイ、東国の三人の王、ほか

演奏者：平井 満美子／ソプラノ 佐野 健二／アーチリユート

と き：12月5日（火）17：00開演

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

<入場無料>

●オルガン音楽の泉 2017 Fall semester

パイプオルガンの響きに想うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第24回 12月6日（水） 能島 亜未（本学オルガン講師）

いずれも12：50～13：20 [開場12：40予定]

ところ：関西学院中央講堂（125周年記念講堂）

主 催：宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。（17：50～18：20 1405教室）

12月主題：「クリスマスを待ち望む」

12月7日（木）舟木 讓（宗教総主事）

12月14日（木）嶺重 淑（大学宗教主事）

12月21日（木）Jeffrey Mensendiek（宗教センター宗教主事）

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日（原則）に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

12月10日（日）、24日（日）10：00～11：00

関西学院会館ベーツチャペル

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

と き：12月18日（月）17：30開場／18：30開始／21：00終了予定

ところ：ザ・シンフォニーホール（大阪市北区大淀南2-3-3）

参加費（入場料）：2000円 当日座席指定（16：30より座席券と交換）

チケット販売：

* 関西学院大学生協（tel.0798-53-5150）

* チケットぴあ（tel.0570-02-9999） Pコード 345-158

* ぴあ取扱いのコンビニエンス・ストア：

セブン・イレブン、Family Mart、サークルK・サンクス

* ザ・シンフォニーチケットセンター（ザ・シンフォニーホール内 06-6453-2333）

お問合せ：関西学院宗教センター（tel.0798-54-6018）

主催：関西学院 共催：関西学院後援会・関西学院同窓会